



ルート調査開始！！



点字ブロックの方向を調べています



調査した情報を入力しています

点字ブロックの ルート情報テキスト データベース整備事業

視覚障害者の単独白杖歩行外出を応援する会

事業概要

視覚障害者が自由に安全に一人で白杖を使って歩行・外出できるように、点字ブロックルートの情報を調査収集。テキスト化した上で、データベースとしてインターネット上に公開します。

助成予定 100,000 円

視覚障害者の単独白杖歩行外出を応援する会は、8月19日(土)、梅田駅周辺で点字ブロックのルート調査を行いました。

この日は、当事者やボランティアを含め7人が参加。阪急梅田駅、地下鉄御堂筋線梅田駅間や地下鉄東梅田駅、西梅田駅間など8ルートが選定されました。

調査はスタート地点より点字ブロックに沿って進み、分岐点までの距離をロードカウンターで測定。分岐点の先にトイレや自動券売機など有益な情報がある場合は、そこまでの距離も測定。これをゴール地点まで続けます。調査終了後は蛍池公民館へ移動。調査した点字ブロックのルートをテキスト化する作業を行いました。

「一人で白杖歩行する人が初めて通る時でも安心してできるように細かいところまで調査することが大切です」と同会代表の上鍛冶公

博さん。参加者からは、「ルート調査は丁寧に行うために時間がかかるが、その分点字ブロックの形状や材質の違いなど小さなことにも気づくことが多いです」「点字ブロックは、片側にしかないため逆走して歩行することもあるので、危険だと感じました」「自分のできる範囲で次回も参加したいですね」などの声が聞かれました。

また、「関東では、約2千3百の点字ブロックのルートをインターネットで調べられます。目的地までの情報を事前に知ることができるので、介助なく、自由に歩行でき、外出しやすくなります。大阪はまだないため外出しにくいのが現実です」と上鍛冶さんは話します。

点字ブロック調査は5月から様々なルートで行われていて、その情報は12月にインターネット上で公開される予定です。